

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

| カテゴリー | SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項 | 3側面該当 | | | 期待レベル | 具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。) | SDG s のゴール・ターゲットのマッピング | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|-------|----|----|-------|---|------------------------|---|---|---|---|-----|-------------------|---|---|-----|------------|--------------|----------------------|------|------|------|----|----|--------------|
| | | 環境 | 社会 | 経済 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している | | ○ | ○ | 基本 | 雇用、教育、昇進、福利厚生等の雇用条件で差別しない方針のもとにトップマネジメントが先頭になって関与している。 | | | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | | 8.5 8.8 | 10.2 10.3 | | | | | | | 16.1 16.7 |
| 2 | 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている | | ○ | ○ | 基本 | ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメント（心の健康づくり）相談窓口を設置している。 | | | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | |
| 3 | 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない | | | ○ | 基本 | 労働基準法等の内容を理解し、長時間労働抑制のための労働生産性の改善、労働時間・休憩・休日等勤務体制を就業規則に明記して対応している。 | | | | | | | | | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | |
| 4 | 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している | | ○ | ○ | 基本 | 外国人の採用について、就業規則で制限はしていない。 | | | | | | 4.4 | | | | | 8.7 | 10.3 | | | | | | | |
| 5 | 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている | | ○ | ○ | 基本 | ・とちぎ健康経営宣言証を全国健康保険協会栃木支部に宣言（H29.11.20）し、支部長の認可を受けている。 ・労働安全衛生管理者（県労働局）及び安全管理者（中央労働災害防止協会）の社外講習を受けている。 | | | | | | | | | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | |
| 6 | 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している | | ○ | | 基本 | 安全衛生組織に「メンタルヘルスクア部門」を設けて対応している。 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている | | ○ | ○ | 基本 | 就業規則に「産前産後の休業」「母性健康管理措置」「育児時間及び生理休暇」「育児・介護休業・子の看護休暇」等を設けて多様な人材が安心して勤務できる環境を整備している。 | | | | | | | 5.1 5.5 | | | | 8.5 | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| 8 | 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる | | ○ | ○ | 応用 | 日本健康会議より「健康経営優良法人2020(中小企業法人部門)」の認定証を授与されている。(2021.3.4) | | | | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | |
| 9 | 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している | | ○ | ○ | 応用 | 就業規則に「安全衛生教育の実施」「教育訓練の実施」を定め、職務や役割に応じた教育・訓練を実施している。 | | | | | | | 4.4 4.7 | | | | 8.8 | | | | | | | | |
| 10 | 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている | | ○ | ○ | 応用 | 就業規則（賃金細則）にて同一労働同一賃金の原則を順守している。 | | | | | | | | | | | 8.5 | 10.2 10.3 | | | | | | | |
| 11 | 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている | ○ | | ○ | 基本 | ISO14001:2015を認証取得（JQA 認証No.EM6325）しており、環境目標として「3Rの推進」を設定し、廃棄物の識別管理と削減に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | | | | 11.6 12.4 12.5 | | | 14.1 | | | |
| 12 | 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている | ○ | | | 基本 | ISO14001:2015を認証取得（JQA 認証No.EM6325）しており、環境目標として「電力使用量の削減」「自動車ガソリン使用量の削減」を設定し、使用量の把握と削減に努めている。 | | | | | | | | | | | 7.3 | | | | 13 | | | | |
| 13 | 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている | ○ | | ○ | 基本 | ・エネルギー使用量の計算表（原油換算）により把握し、環境マネジメントプログラムにて管理し、削減を推進している。・栃木県よりエネルギー削減事業所を受けている。（H27.12.1）・那須塩原市よりこみ減量認定事業所（H24.7）を受けている。 | | | | | | | | | | | 7.2 7.3 | | | 12.4 | 13.3 | | | | |
| 14 | 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている | ○ | ○ | ○ | 基本 | EMS活動の一環として法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用前にリスクアセスメントを実施して適切な使用を図っている。また、使用量を記録し、削減に努めている。 | | | | | | 3.9 | | | | 6.3 | | | 11.6 12.4 | | | | | | |
| 15 | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | ○ | | | 基本 | 環境方針に「生物多様性及び生態系の保護」を取り上げ、地方公共団体提唱行事（緑の募金、生物多様性とちぎ戦略等）に協賛活動している。 | | | | | | | | | | | 6.6 | | | | | | | 15 | |

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

上記以外で設定した取組項目

| | 独自に設定したSDGsに資する取組 | | | | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
|---|-------------------|--|--|--|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】

- ・SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度 など）